

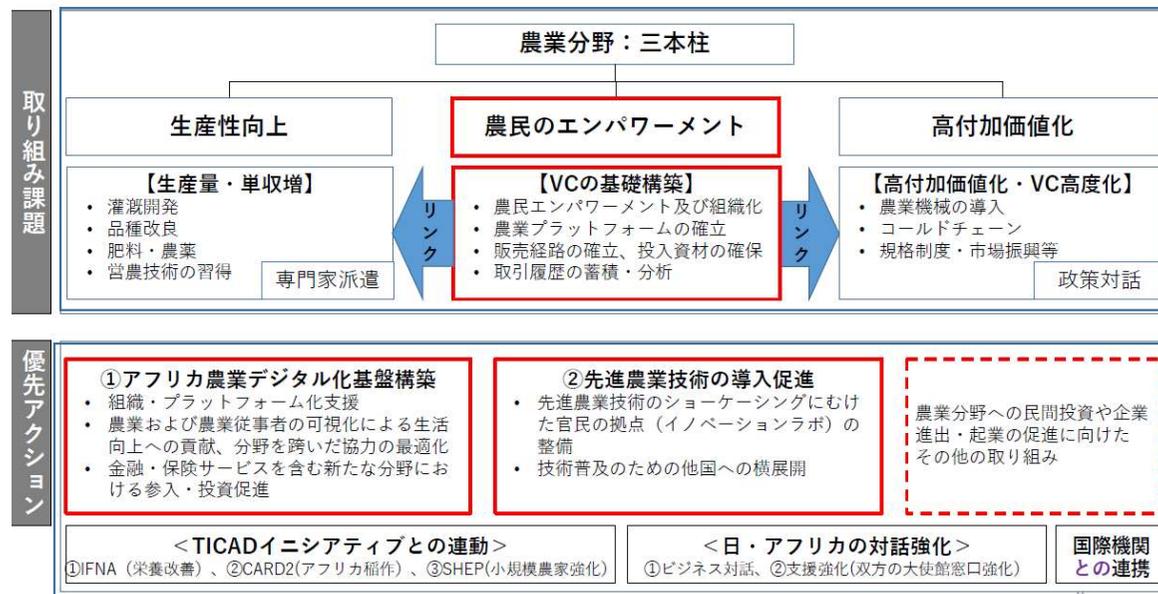
# 日・アフリカ農業イノベーションセンター (AFICAT) 計画の背景・概要 及び 実現・実施に向けたJICAの活動

# アフリカ農業イノベーション・プラットフォーム構想

## Agriculture Innovation Platform in Africa : AIPA

### 取組の全体像（振り返り）

- ✓ TICAD 7（2019年8月）において、アフリカビジネス協議会農業ワーキンググループより発表
- ✓ 優先アクションとして①「農業デジタル化基盤構築」②「先進農業技術の導入促進」を官民連携により推進



## 日・アフリカ農業イノベーションセンター（AFICAT）概要

### AFICATとは：

Africa Field Innovation Center for Agricultural Technology

- ◆「アフリカ農業イノベーション・プラットフォーム構想」における優先アクションの一つである、「先進農業技術の導入促進」を実現するためのサブサハラアフリカにおける拠点（機能）
- ◆民と官の共同事業

### AFICATの目的：

- ◆本邦企業の対象国への事業展開・進出のための支援活動を積極的に推進
  - ◆質の高い本邦企業の技術・製品の有用性と活用を通じた当該国農業の機械化を推進し、延いては当該国の農業分野の課題の解決を図る
- CARD（アフリカ稲作振興のための共同体）の目標達成に資することも期待

## AFICATの実現・実施に向けたJICAの活動

### 1. アフリカ地域先進農業技術の導入促進にかかる情報収集・確認調査（2020年～2022年2月）：

- ◆ 調査対象4か国（ガーナ、コートジボワール、タンザニア、ナイジェリア）において、農業生産性や農産品の品質向上に資するべく、先進的な技術や農業機械化の推進のため、展示・実証・人材育成・イノベーションの拠点として、AFICATの設置にかかる情報を取りまとめた。

### 2. アフリカ地域先進農業技術の導入を通じた農業機械化振興にかかる情報収集・確認調査（2022年3月～2024年2月）：

- ◆ 上記1.の調査結果をもとに、対象4か国（及びケニアも想定）でパイロット活動の実践・AFICAT構想の教訓等の取り纏めを行うもの。

←後ほど、調査団より説明いたします。

### 3. ケニア国農業機械化アドバイザー派遣（2022年～2023年）：

- ◆ 上記2. の調査と連携し、ケニアにおけるAFICATの実践を支援する。
- ◆ 村上俊一専門家（[msyunichi@gmail.com](mailto:msyunichi@gmail.com)）が今月より着任済。

### 4. AFICAT事務局の立ち上げ（2022年～）（予定）：

- ◆ 国内外からの質問・相談にお応えすべく、JICA経済開発部内に「AFICAT事務局」を設置する。実際のご対応はAFICAT調査団と連携しながら行っていく予定。

AFICAT事務局 E-Mail Address: [aficat@jica.go.jp](mailto:aficat@jica.go.jp)

### 5. AFICAT Webサイトの開設（2022年～）（予定）：

- ◆ 各国AFICATの活動（**2. 調査**の進捗等）や現地の農機事情の紹介、セミナー等の情報や本邦企業様等から多く出される質問と回答（Q & A）を公開する。

### 6. 筑波農業共創ハブ（2020年～2023年 実施中）：

- ◆ JICA筑波センターが実施中の「農業技術と農業人材の共創サイクルの構築：農業共創ハブ」活動を通じて、日本国内にいながらアフリカとの接する機会を提供する。
- ◆ 本邦企業様の製品の実証試験等のために、筑波センターが有する圃場・施設を提供。
- ◆ 後述の研修生との意見交換会等を通じた現地情報の収集や製品の紹介を実施。

### 7. アフリカ地域農業機械化促進（課題別研修 2019年～）：

- ◆ 英語圏と仏語圏の諸国を対象とした2つの研修コースが実施中。本邦企業様に対して企業・製品紹介の講義枠を提供し、研修員との意見交換を支援する。

### 8. 農業分野長期研修生（留学生）Agri-Network（2021年～）：

- ◆ 日本の大学にて学ぶ長期研修員とのセミナー等を通じた意見交換により、現地情報の収集や製品紹介等を支援。更に研修員が学ぶ大学とのネットワーク強化が期待される。

### 9. 民間連携事業（中小企業・SDGsビジネス支援事業 継続中）：

- ◆ AFICATを足掛かりとし、その後に企業様自身でアフリカ諸国にビジネス展開をされる際にご活用いただくことを想定。
- ◆ または民間連携事業でのご経験を踏まえ、具体的な活動（デモ等の販売促進活動等）を行う際にAFICATを活用いただく。



## AFICATの実現・実施に向けた情報収集・確認調査の説明へ

---

つぎに

**アフリカ地域先進農業技術の導入を通じた農業機械化振興にかかる  
情報収集・確認調査**の説明を調査団から行っていただきます